



日本共産党 和歌山市会議員

# 森下さち子ニュース

## 2018年【9月号】

市議員団ホームページ <http://jcpwkm.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113

森下さち子のブログ「さっちゃんね〜♪」 <http://sachikogo.exblog.jp/>



今年は全国的に体温を超えるような気温が続き酷暑と言うべき夏でした。和歌山市でも、毎日35度が普通という日々。私は四季の中で夏が一番好きだと言っていました。近頃はそんなことも言えないほどの異常な暑さに体が悲鳴をあげました。9月に入っても暑さは続き例年より高い気温だという予報です。引き続き、くれぐれも体調には気をつけてください。



### 9月の無料法律相談

9月14日(金)13:30~  
9月26日(水)18:00~

\* 事前の予約をお願いします

TEL 435-1113

(市議団控室 森下まで)

\* 井辺の森下さち子事務所にて。

(井辺144-77 TEL 475-8122)

## 9月議会が始まります。

9月12日から開会、一般質問は14日からの予定です。この間、西日本で起きた豪雨による災害は今も爪痕を残し、復旧作業が続いていますが、和歌山市でも起こりうることであり、対策が急がれます。また、市長選挙での論戦を通して明らかになったことなど、5人で力を合わせて議会に臨みます。お時間の許す方はぜひ、傍聴にお越しください。ライブ中継や録画でも議会の様子をインターネットでご覧いただけます。



### 「市長選挙」 お疲れさまでした

7月29日投票の市長選挙は酷暑の中で戦われました。候補者として奮闘された島くみこさんは言うまでもなく、関係者のみなさんのご奮闘に心からの「お疲れ様」の言葉を送ります。選挙はどんな政策を掲げ、訴えるかですが、それを通じて有権者の方々と現状を問う、改善を求めるといふ点でも大きな意味を持ちます。

カジノ誘致、子育て支援、社会保障の充実など市民の声をすくい取り、投げかけていく大きな役割を島さんは果たしたと言えるのではないのでしょうか。



この選挙を通じて新たなつながりが生まれるとともに、新たな課題も見えてきました。引き続きみなさんとともに力を合わせて行きたいと思えます。そして、尾花市長からは2期目のスタートとして、9月議会でも所信があるにさかれます。市民の暮らしに心を寄せるといふ点でどんな政策を講じるのか、質問や審議を通して質して行きたいと思っています。



## こんにちは！松坂みち子です



### 原水爆禁止世界大会

5000人集まった開会集会。海外23カ国から1000人近く参加。まさしく世界大会。総がかり行動共同代表の福山真劫氏の「核兵器廃絶の運動など、分裂している場合ではない」との話に思わず「そのとおり！」と。分科会は「爆体験の継承・実相普及と援護・連帯活動」に参加。被爆者の体験を聞き、自分の言葉で伝えることの難しさを実感しました。核兵器禁止条約は14カ国が批准(2週間前は11カ国でした)他の条約と比べても決して遅いペースではないそうです。世界中に核兵器廃絶のために活動している人がたくさんいます。

県議予定候補 松坂みち子

# 自治体学校に行ってきました

7月21日〜23日、福岡市で開催された「自治体学校」へ松坂美知子議員と参加しました。毎年、開催県が変わりますが、九州地方で開催されたのは初めてとのことでした。

1日目◆「地域・くらし憲法を生かす」というテーマでリレートークと対談

2日目◆行政上の各テーマでの分科会、(私は「公共施設等総合管理計画への対応と展望」に参加)

3日目◆馬奈木良昭雄弁護士講演「くらしの現場で国民主権を守る」

## 分科会より

―公共施設が減らされる―

2014年に国から出された「公共施設等総合管理計画指針」に基づき、全国の地方自治体が策定を求められ、およそ99%が計画を作りました。そのうちのほとんどが削減型と言われるように全体の個数を減らすものとなっています。減らす根拠は人口が減ると言うことと財政が厳しいと言うことの2点。しかし、奈良女子大学・中山教授は公共施設を減らすことは不便な生活を市民に強いる結果とな

ること、人口ビジョンはこれから、人口を増やす計画であるの一方で公共施設を減らすのは矛盾していることを挙げ、建物の維持管理のあり方を考え直すことを提案されました。建物の耐用年数を長寿命化し建て替えではなく修繕しつつ長く使う方法を選択しようと言うことです。

―保育所・幼稚園・小学校

が対象―

和歌山市も公立保育所と幼稚園が統廃合の対象になっていますが、建物は耐震化をすればまだ使えるものがほとんどです。

さらに適正規模化の名の下、小・中学校の統廃合も計画されていると聞きます。公共施設は地域にとってもコミュニティの拠点となり得るもの。高齢者と子どもたちの異年齢交流や地域の交流施設として、さらには避難場所として使い続けることも検討できます。

せっかく作った公共施設のあり方をみんな考えていきたいと強く思いました。

## 終戦の日 (さっちゃんのブログより)



アジア・太平洋戦争が終わって73回目の8月15日です。来年の統一地方選、参議院選の候補者が揃い踏みで、街頭宣伝に出ました。

写真左より松坂市議、前参議院予定候補、森下さち子、井本市議予定候補、後ろに姫田市議。さらに奥村県議、南畑市議、中村市議、坂口市議予定候補の総勢9人でJR和歌山駅へ。

怪しい雲行きの中、雨を心配していたら案の定、駅へ着いてほどなく土砂降りの雨。せっかく来たのだからと、前参議院予定候補が訴えました。

私たちは時代に生きる一人として、渡された「平和」というバトンを責任を持って次の世代へと渡さなければなりません。

今日、8月15日はそのことを改めて誓う日、そして過去に想いを馳せ、私たちに何ができるかを語り合う日。

<https://sachikogo.exblog.jp/>



昨年、日本共産党女性後援会で初めて、生協病院主催の夏祭りに出店し、今年もがんばりました。カレーと飲み物と鯉節の販売ですが、カレーは牛スジと豚肉を入れた特製、鯉節も削りたてを窒素ガスで充填した新鮮なもので好評です。今年は2回目ということで、段取りもよく進んだのに、台風20号の吹き返しの風に悩まされ、3つのうちの鍋の一つがあおられてひっくり返るといふ惨事が勃発。それでもめげずに完売しホッと胸をなで下ろしました。この意気込みで来年の統一地方選もがんばりたいものです!!

